

Special Review!

ほぼ同時に2作品が登場！最新戦闘機「F/A-18E」で遊べ！

F/A-18E スーパーホーネット 完全日本語版 Jane's Combat Simulations F/A-18

櫻園冬弥 Touya Sakurazono

昔から「フライト」にはあらゆる機体が登場しているのだが、意外に少なかったのがF/A-18 Hornetのフライトシミュレータ。それが今回、立て続けに2作登場することになった。

Hornet (ホーネット)は、米国海軍と海兵隊に配備されている多目的戦闘機だ。F/AのFはFighting, AはAttackを表し、格闘/地上攻撃の能力を併せ持つわけだ。

今回紹介する2本のソフトは、どちらもF/A-

18Eというホーネットの改良型スーパーホーネットのフライトシミュレータで、配備が完了するのが2015年という、いわば「最新鋭」にもなっていない機体なのだ(すでに現行のF-14と置き換わりつつある)。今回は、2作同時に紹介することにしよう。

それぞれを紹介する前に、一つだけ注意しておくことがある。それはF/A-18Eという機体はマルチロールファイター(多目的機)であり、

高性能なレーダーシステムを装備していることだ。そのため、多彩なモードを使いこなすにはかなりの熟練が必要となるだろう。「面白そう」と思って実際にプレイしてみると、フライトマニアでもなければ難しくてくじけてしまうかもしれないが、それらは実機を忠実に再現しているため、なのだ。

そのリアルさに拍手

F/A-18E スーパーホーネット 完全日本語版

■価格：9800円(4月28日発売)
■問い合わせ先：イマジニア ☎03-3343-8900
<http://www.imagineer.co.jp/PC/>
■動作環境：MMX Pentium/233MHz以上(推奨 Pentium II/300MHz以上)、メモリ64MB以上(推奨128MB以上)、空きHDD容量300MB以上(推奨400MB以上)

©1999-2000 Titus. All rights reserved. Developed by Digital Integration.



画面中央に注目。甲板誘導要員の指示なしには離陸さえ不可能なのだ



見よ、この重武装を！最新のスーパーホーネットはハードポイント(兵器取り付け部)が左右1か所増えている

このソフトでまず驚かされたのは、空母からの発艦だ。甲板にはちゃんと誘導員がおり、彼らの指示どおりに甲板を移動して離陸しなければならない。正直これには驚かされた。これが単なるお遊び的な要素なのか、メーカーの本気を表しているのか判断に迷ったが、離陸してみても後者であることはすぐに理解できた。「驚き」はここだけにとどまらなかったのだ。

まずそのフライトモデルだが、低速時の安定性、極端な挙動に対するスタビリティ



地上攻撃よりも格闘性能が高いとされるF/A-18Eは、その安定した機動力で敵の背後を取るのも楽

ィの良さといった、実機の特性は忠実に再現されているようだ。スティックに対する反応も非常に素直なので、上空に上がりさえすれば、誰にでもコントロールが可能だろう。ただし、生半可に安定性が高いため、唐突に失速状態に入ることがある。ドッグファイトのときには速度管理に注意しよう。墜落するときはちゃんとパイロットが「うわあああああ！」と叫んでくれるのはご愛嬌。

また、グラフィックのリアリティは特筆モノだ。美しい機体やなだらかな地形などはもちろんのこと、着発艦する空母の作り込みなどは、もはやマニアの領域。

独特なキーへの機能の割り当て方をはじめ、随所で独特色の濃いスーパーホーネットだが、サブウィンドウによる自分の視野方向の確認といった、ほかのフライトシムで採用されている便利な機能なども積極的に取り入れている。またミッションエディタやさまざまなシチュエーションを設定できるクイックフライト、キャンペーンモードなど、現在のフライトシムに見られる要素はすべて包含されている。決して「ク



スマートで美しい機体。このほっそりとした機体はまさにホーネット(スズメバチ)だ



用意されたシナリオなどを自分でカスタマイズできる。機能こそ少ないが、使うにはそれなりに知識が必要だ



暁の飛行甲板。今まさに戦いへ向かうとするホーネットたち。甲板要員が走り回り、緊張は高まる

セが強い」というわけではないので安心してほしい。

この作品は、ヨーロッパ系のフライトシムで顕著に見られる「細部へのこだわり」が感じられ、マニア層にはたまらない内容だろう。このリアリティは昨今まれに見る完成度だ。久々に骨太なフライトシムが登場してくれた。また、イマジニアのお家芸でもある、スピーディなローカライズにも好感が持てる。また、フライト初心者向けの「スタートマニュアル」(手取り足取りゲームを教えてくれるマニュアルだ)が独自に付いてくるのも非常に素晴らしい(英語版にはなし)。



エレクトロとエイトボールが3、4番機です

日本語表示の画面。計器ばかりはどうしようもないが、そのほかの部分は全部日本語化されているので、非常に遊びやすい

Jane's は、緻密で手堅い安心ブランド Jane's Combat Simulations F/A 18

Jane's が持つ、緻密で広範にわたる軍事データを背景に作られたのが、この「F/A 18」だ。軍事シミュレーションの御大だけあって、内容は手堅いものとなっている。ちなみにタイトルは F/A-18 となっているが、プレイヤーが操る

機体は、イマジニアのものと同じ、最新型の F/A 18E だ。

初期 Jane's の作品とは違い、グラフィックスの素晴らしさが処理速度を犠牲にしていることもない。フライトモデルに関しても、手慣れ

■価格：7800 円(英語版、日本語マニュアル付き)
■問い合わせ先：エレクトロニック・アーツ・スクウェア ☎03-5436-6499
<http://www.jane.ea.com/>
■動作環境：Windows 95/98/2000、推奨 Pentium II/300MHz 以上、メモリ 64MB 以上、空き HDD 容量 450MB 以上

© 1999 Electronic Arts.
© 1999 Jane's Information Group Limited.

た内容で過不足がない。これらのグラフィックスエンジンは同社のかつての名作「F-15」を改良したものが使用されており、このシステムも円熟した感がある。

さて、Jane's といえば前述したように緻密



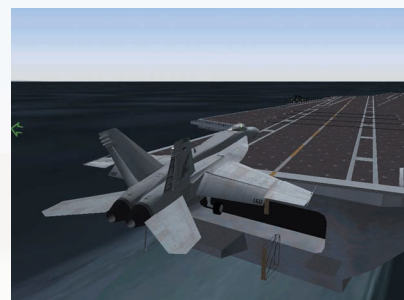
軽やかに舞い、確実に勝つ。F-14 に代わる機体だけのことはあり、潜在的能力は非常に高レベル

まあ、負けることもある……。それはさておき、爆発のグラフィックも美しく表現されている





周囲を哨戒ヘリなどが飛び交うなかで離陸を待つ。ややあっさりした感のある甲板だが、作戦域の緊迫感はかなりなもの



見事なファイナルアプローチ(自動だが)。実は実際のF/A-18も自動着艦システムを持っており、着艦は楽々なのだ

な軍事データを得意とする会社だが、今回はそれにも増して演出面で大幅なブラッシュアップを施したようだ。それは、イマジニアのもの同様、空母から発艦するときに分かる。F/A-18Eスーパーホーネットと同様に、甲板の上にかにも作戦行動をとっているような慌たしさがあるのだ。甲板要員こそいないものの、あたかもプレイヤー以外の戦闘員が、目的を持って活動しているような感覚を受けるのだ。空母を核とする一つの「空母戦闘群」という、独立した巨大な組織の雰囲気やうまく醸し出している。

また、膨大な軍事データはキャンペーンにおいて顕著に表れている。技術的データだけでは

なく、世界の軍事的、政治的背景を元に構成されたシナリオは見事の一言。また、ミッションビルダーを使えば、自分のオリジナルのミッションを作成することもできる。このビルダーは、なんとJane'sのスタッフが実際にキャンペーンシナリオを作成するために使用したものと同一なので、非常に高度なものを作成できる。そのぶん難しいものになっているので、気合を入れて作業にあたる必要はあるのだが……。

Jane'sの一連の作品は、エンターテインメント色の強いものと質実剛健なものに大別できるが、今回の「F/A-18」は後者にあたるだろう。さらに「ゲーム」としての演出にも凝り出し

た、かなり本気で作られたものである。

奇しくも(もしくは狙って?)同時期にリリースされたF/A-18Eは、どちらも非常に完成度が高い。細部へのこだわりでリアリティを追求する「F/A-18E スーパーホーネット」、緻密な軍事データによってリアルさを追求する「F/A-18」。両者とも甲乙つけがたい。どちらがお勧めかと問われたら「両方」としかいいようがない。コアゲーマーではないなら、演出にも凝った「F/A-18E スーパーホーネット」のほうがいいかもしれない。フライトシムマニアなら、迷うことなく両方手に入れるべきだ。



非常に高性能なミッションビルダー。使いこなすにはかなりの軍事知識などが必要



インスタントアクションでは、さまざまな敵、さまざまなシチュエーションで戦闘をセットアップすることができる